

カフカイ

学校と家庭と地域を結ぶ
香深井小学校・学校だより



第208号

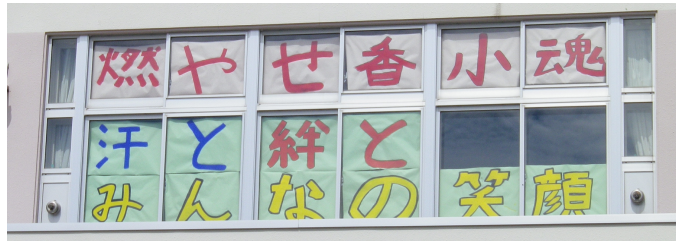
発行: 香深井小学校
発行日: H26. 6. 20
発行責任者: 本間正博
Tel 86-1926

校風
思いやり

香小魂で最後までがんばった！

地域あげての応援ありがとうございました

校長 本間正博



スローガンは「燃やせ香小魂・汗と絆とみんなの笑顔」

六月十五日、心配された天候でしたが、晴れ間もある中、運動会を実施することができました。今年の運動会は「燃やせ香小魂・汗と絆とみんなの笑顔」をスローガンに、紅・白各チームは六年生を先頭にいっしょけんめい練習に取り組みできました。開会式で「香小魂」の話をしましたが、子どもたちは最後まで、その気持を持ってがんばりました。勝負は決まりましたが、運動会の目標については、子どもたちは全員百点でした。運動会が終わってからは、地域の方から「とても良い運動会だったね」「楽しかったよ」と声をかけられました。ありがたいことです。悪天候が続く中、グラウンドで運動会が実施できたのは、地域の大先輩が香小のグラウンドを整備し見守ってくれたおかげです。あらためて、地域に支えられていることを実感した運動会でした。そのことに感謝し、ひきつづきがんばります。

PTAの協力で準備・運営が順調に

運動会の準備、そして当日の運営にあたってはPTAが力を発揮しました。金曜日の夜には天候状況をにらみながらの打ち合わせ、そして日と上げ。土曜日にテントを運び込み、日曜日の朝に一気に会場を準備しました。終了後、子どもたち（手伝ってくれた中学生も）と親と先生方で楽しく反省会を行いました。



技術が必要、伝統の樽ころがし

全力・運動会



親子ペアでいざ決戦！
何でしょう？二人三脚です



力が入った綱引きでした



川村君の地太鼓にあわせて
1年から5年生の北限太鼓



担任の高橋先生の地太鼓で
がんばる6年生の桃岩太鼓

全校児童による伝統の「よっちょれ・礼文太鼓を披露！」
香小の運動会の目玉、伝統の「よっちょれ」と「礼文太鼓」を全校児童で発表しました。初めて取り組んだ一年生から鍛え上げてきた六年生まで、お互いに学び合った踊りと「北限太鼓」「桃岩太鼓」をがんばってきました。
「よっちょれ」はアンコールに込めることを宣言して踊り、しっかりアンコールに込めました。お客さんからの大きな声援、そしてお捻りもあり、とても励まされました。

7月の行事予定

- 3日(木) 5年宿泊学習(稚内)
 - 4日(金) 5年宿泊学習(稚内)
 - 7日(月) 全校朝会
 - 8日(火) PTA役員会
 - 9日(水) 参観日・全体懇談
 - 10日(木) 開校記念日
 - 13日(日) 内路神社祭(地域活動)
 - 14日(月) 全校朝会
 - 15日(火) 振替休業 厳島神社祭
 - 16日(水) 職員会議
 - 18日(金) がんばったね集会
 - 21日(月) 海の日
 - 23日(水) 1学期終業式(5時間授業)
水泳授業(3・4校時)
 - 24日(木) 夏休みスタート
ラジオ体操(～27日)
- ※夏休みは8月17日までです。



※今年は、内路の神社祭でも地域活動を行う予定です。よろしくお願いします。



を出しながら演奏しました。夕方からは、小さな子や中学生も参加して、子ども御輿を行いました。何と保護者・先生方も含めて六〇人ほどの大所帯での御輿です。地域のあちこちで、応援や志を頂きました。鼓笛の目標である「世界を元気にしたい」という願いがまず香深井の地域で花開きました。

六月二日、ぬけるような青空の下、見内神社祭が行われました。香小の子どもたちは、午前中に鼓笛パレードを行い、保育園と礼宝園で演奏した後、地域を回り神社まで行進しました。

演奏したのは「明日があるさ」

「ヤングマン」の二曲です。「ヤングマン」は振り付けてかけ声



見内神社祭で地域を
元気にするためがんばりました

ふるさとを学ぶ「礼文学」

香深井小学校では、今年も「ふるさと礼文」を学ぼうと総合的な学習の取り組みとして「礼文学」をすすめています。本校では、この「礼文学」を通して、ふるさとを大切に思う心と、自分を堂々と表現できる力を育てようと三年生以上の子どもたちが取り組んでいます。

今年は山の幸・海の幸について 地域の先輩から学んでいます

六年生は、修学旅行での観光大使活動ですでに「礼文学」の取り組みをスタートさせています。三・五年学級では、今年は「礼文を食べつくせ！」というテーマで、礼文の山菜について地域の先輩から学んで、実際に採って食べる体験をすすめています。

行者ニシクから始まり、五月二十九日には、地域の柿崎さんを講師に、学校の裏山で「うど・ふきの採り方・食べ方」について学びました。そして、六月三日には、晴天の下、教育委員会の方にサポートして頂き、須田次長さんを講師にタケノコについて学びました。子どもたちは、講師の大先輩の話を真剣に聞いてから収穫。そして学校に持ち帰り、炭火焼きや天ぷらにしてみんなで味わいました。

普段、あまり山菜を食べない子どもたちも、「すごくおいしい」と歓声を上げながら笑顔で食べていました。このあと、学習したことをまとめたり、講師の方にお礼の手紙を書くなど取り組みました。



山菜の採り方のコツや注意事項、
処理の仕方や食べ方を教える柿崎さん



たけのこを採った後、みんなで記念写真

「ふるさと礼文」の良さを丸ごと体験 名産こんぶなど

香深井小のよい子たち

「礼文」を学ぶ香深井小の子どもたちは、ふるさとを学ぶために、地域の先輩から学び、実際に体験しています。この取り組みは、ふるさとを学ぶだけでなく、地域の文化や伝統を学ぶことも目的としています。今年度は、名産のこんぶをテーマに、子どもたちが実際に採って食べる体験を行いました。

日刊宗谷で
紹介されました

干した昆布を子どもたちと
先生で学校まで運びました

全校で「昆布干し体験」 すごい！いい昆布だね〜！

六月四日は朝から、全校児童で昆布の引き上げ作業、昆布切り、そして昆布干し、夕方には取り入れ作業と一連の昆布干し体験を行いました。昨年、五・六年生が養殖昆布の巻き付け作業を体験して、その養殖ロープを香小のためにとっておいてくれたものでした。お世話になった長谷川好美さんの指導で子どもたちは最後までがんばっていました。また、子どもたちの中には、慣れている子もいて「いい昆布だね〜」と言いながらてきぱき仕事をすすめていました。

礼宝園・保育園と 花壇づくりをがんばりました

六月に入り、香小の子どもたちは礼宝園の花壇作業を行いました。また、保育園児といっしょに学校前の花壇に花を植えました。

礼宝園では、作業の後、「春の小川」の歌のプレゼント。おじいちゃん、おばあちゃんもいっしょに歌ってくれました。保育園との交流は花植えの後、楽しく遊びました。



「春の小川」を歌う子どもたち



子どもたちを指導する長谷川さん



六年生が修学旅行に 行ってきました②

修学旅行の二日目の自主研修で製作した「焼き物」が学校に届きました。

札幌の円山にある陶芸工房で初めて「焼き物」に挑戦しました。粘土をこね、カップや皿、小鉢、そして箸置きをそれぞれの発想で形・模様を作りました。学校を訪れた保護者のみなさんが「上手だね」と感心していました。



全部、自信作です



北都道路（株）さんが 学校環境ボランティアを実施！

6月4・6・7日の3日間、北都道路株式会社による、香小への環境整備が行われました。本格的なグランド整備をはじめ、校舎前のアスファルト補修やラインの引き直しなど、機材を入れての大がかりな作業になりました。

同社が香深井地区の道路工事を引き受けたこともあり、同じ地区にある学校への企業貢献ということで実施したものです。5月にはPTA・地域の方の協力でグランドの草取りなどを行いましたが、今回の整備でさらに使いやすいグランドになりました。



全校児童でお礼をして学校として感謝状を贈呈しました